

2019年3月18日

「切土・盛土分布図を活用した地盤調査・解析精度の向上」が 「ジャパン・レジリエンス・アワード2019」最優秀レジリエンス賞を受賞

戸建住宅の地盤調査・建物検査など住宅に関する業務全般を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤武司）は、第5回「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2019」（主催：一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会）において、「切土・盛土分布図を活用した地盤調査・解析精度の向上」が、最優秀レジリエンス賞を受賞しました。



<表彰式の様子>

「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」は、次世代に向けたレジリエンス社会構築のため、強くてしなやかな国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等を表彰する制度です。

今回受賞した活動は、切土・盛土分布図を作成することで住宅造成地の切土と盛土の厚さや切盛境界深度を想定し、地盤調査・解析の精度を向上させることを目的としています。一般的に新しい盛土ほど沈下の危険性が高く、地震時には古い盛土でも沈下の危険性が生じるため、原位置での地盤調査と組み合わせると地盤の評価がより適切になります。

当社は住宅地盤調査の専門会社として、地盤の評価に盛土の厚さを考慮すべきと考え、地盤の被害調査や軟弱地盤地域において切土・盛土分布図を作成しています。2018年北海道胆振東部地震では、当社が作成した切土・盛土分布図を用いて被害調査報告会で盛土地盤のリスクについて報告会を開催しました。

ジャパンホームシールドでは、今後も優れた技術とサービスの提供を通じて、安全・安心に関する有益な情報を発信していきます。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<https://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545